

催し

■第4回サロンミュージックin赤レンガ



▲Sena (セナ)

■3月16日(土)午後2時から場内の煉瓦ホールにポップス、ブルース、矢沢永吉コピーバンドなど。出演：メドウグリーン、潦(にわたすみ)、セナ、パール☆オレンジ定140人費1千円(ワンドリンク・ワンプレート付)申電話 文化スポーツ課

■日野市市民会館文化事業協会「ニューヨークのそよかぜ」さ

いちはる 親子で楽しむ クラシック・イン・スプリング

■3月17日(日)午後2時から場内の煉瓦ホールに費1千円※中学生以下500円。全席自由申チケット販売場所：ひの煉瓦ホール、七生公会堂、中央図書館、多摩平図書館、平山図書館、中央公民館、市民の森ふれあいホール(カフェラウンジ内やまぼうし)、市役所3階文化スポーツ課 課文化スポーツ課

公民館の催し

■高齢者市民企画「おおむね60歳以上の方対象

▼うたごえひろば：2月23日(土)午後2時～4時 場中央福祉センター 生演奏で童謡などを歌

う定申込制で先着80人持マイボット申2月16日(土)から電話 中央公民館(☎581・7580)

■サロン・ド・俳句：3月7日(木)午後2時～4時 場中央公民館高幡台分室 上履き、筆記用具申3月5日(火)正午までに、俳句2句当季雑詠をはがき、電話、FAXまたはEメールで。

住所、氏名、電話番号を記入 191-0042 程久保550 中央公民館高幡台分室(☎592・0864) FAX 594・1915 pubhall@city.hino.lg.jp

■成人事業「災害から地域を守る」大震災から二年

■日内師左表の通り場市民の森ふれあいホール 市内在住・在勤・在学者 定申込制で先着60人持筆記用具※3月9日(土)は昼食申電話 中央公民館(☎581・7580)

●災害から地域を守る～大震災から二年

日時	内容・講師
2/23(土) 10:00～12:00	「地域コミュニティと大規模災害～防災学の視点から」佐藤健氏(東北大学災害科学国際研究所教授)
3/2(土) 10:00～12:00	「自主防災組織について」万願荘地域、日鉦住宅地地域から報告
3/9(土) 9:30～15:00	①宮城県名取市職員による「被災当事者からの話」 ②地震車体験 ③防災倉庫・災害時トイレ見学 ④市職員による「日野市から被災地に派遣された職員からの話」 ⑤話し合い

■成人事業「ちよとサポート若者の暮らし」簡単・時短クッキング

■2月28日～3月21日の毎週木曜日午後7時～9時 場中央公民館 1品15分で作れる簡単・時短料理 師鈴木直美氏(料理研究家) おおむね30歳までの方 定申込制で先着16人 費4回3千円 筆記用具、エプロン、三角巾、

食器用布巾2枚申電話 中央公民館(☎581・7580)

■バラエティサロン「平家物語」祇王」名場面の語りとトーク&「多摩の物語」



▲平野啓子氏

■2月22日(金)午後2時～3時30分 場市民の森ふれあいホール 出演：平野啓子氏(語り部) 定申込制で先着100人申電話 中央公民館(☎581・7580)

■高齢者事業「長寿社会を上手に暮らそう!」あなたらしい生き方を見つけよう

■12月27日(水)2月6日(水)3月13日(水)いずれも午後2時～4時 場中央公民館高幡台分室 ①長寿社会で充実した人生を送るために、長寿社会の人間学(ジェロントロジー)を学ぶ②長寿と食べ物について③長寿のための運動や社会とのかかわり方について 師佐藤昌子氏(NPO法人シニアライフアドバイザー協会理事長) おおむね55歳以上の方 定申込制で先着25人持筆記用具、上履き申電話 同分室(☎592・0864)

講習・学習会

■絵画教室「初心者クラス

■4月からの毎月第1・第3水曜日午前9時30分から 場日野市シルバー人材センター 水彩画、油彩、デッサン 定20人 費入会金2千円、受講料月3千円※教材費別途 2月27日(水)午前10時から同センターで説明会あり。詳細は問い合わせ申電話 日野市シルバー人材センター(☎581・

8171)

■パソコン講習会

■日内師左表の通り場日野市シルバー人材センター申2月22日(金)(必着) までにはがきで。希望講座名と番号、住所、氏名、電話番号、OS(分かる方)を記入 191-0011 日野本町2の4の7日野市シルバー人材センターPC教室係(☎581・8171)

●パソコン教室(3月) ※費用はテキスト代を含みます。

番号	講座名	日程	費用
1	パソコン入門・Word入門	3/22～4/12の毎週金曜日 10:00～12:00	各講座6,000円/4回(750円/1時間)
2	Word基礎・応用 文字入力ができる方	3/9～3/30の毎週土曜日 13:00～15:00	
3	Excel入門・基礎 文字入力ができる方	3/9～3/30の毎週土曜日 10:00～12:00	
4	インターネット 文字入力ができる方	3/8(金)・15(金) 10:00～12:00	各講座3,000円/2回(750円/1時間)
5	デジカメ入門(取り込み・印刷) 文字入力ができる方	3/24(日)・31(日) 10:00～12:00	
6	Word上級(書式設定) 文字入力ができる方	3/21(木) 13:00～15:00	1,500円(750円/1時間)

※上記以外の内容については個人指導もあり。ご相談を。1時間1,500円(訪問2,500円)。3人から開講 ※ご自分のパソコンでも受講可。ご持参の方は、その旨記入を

■みんなの環境セミナー「サクラで染めるハンカチ

■雑木林のサクラの枝で、絹のハンカチを染めてみませんか。

■3月10日(日)午後2時～4時 場生活・保健センター 師三池田修氏(都立翔陽高校教諭) 定申込制で先着10人 費600円(材料費)申電話またはFAXで。住所、氏名、電話番号を記入 同かわせみ館(環境情報センター)(☎581・1164)

■デジタルカメラ撮影講習会

■3月24日(日)午前9時京王線高幡不動駅改札、午後0時30分解散 師マ：浅川や向島用水親水路の「水辺の春」 師初心者

日野の歴史と民俗

149

孤高の女流画家、野村千春と日野

日本の女流画家の草分けといわれる野村千春(旧姓・武居)は昭和23年(1948)から平成12年(2000)まで、日野市旭が丘に住んでいました。

千春は、明治41年(1908)に長野県諏訪郡平野村(現岡谷市)の豪農の次女として生まれました。女学校卒業後、画家を志して上京し、中川一政の内弟子となり、春陽会洋画研究所に学びました。

千春の作品は、重厚な大地と力強い花の絵に代表されるように、女流画家特有の繊細や優美とは無縁のようですが、独特の厚塗りの質感と個性が、多くの人々を魅了してきました。

昭和7年(1932)に童謡「たきび」で知られる詩人巽聖

歌と結婚し、戦後は聖歌と共に、疎開先の岩手県沼宮内から日野に転居して来ました。この頃に描かれた、「冬の八高線付近」「冬の富士電機遠望」「丘の上の日野チーゼル」など、当時の旭が丘周辺の風景を描いた作品も残されています。

自由人の夫と一男一女の家族を支えながら、画業を続ける生活は大変でしたが、昭和27年(1952)には春陽会の会員に推挙されました。当時の画壇は、まだまだ男性が中心で、女性の会員としては2人目でした。千春の実力が高く評価されていたことが分かります。

昭和20年代、多摩平に居住していた作家・伊藤整の一家とは親しく交流があり、千春の苦境を支えてもらったこともありました。

昭和48年(1973)に巽聖歌が亡くなった後も旭が丘に居



▲晩年の野村千春

住し、平成12年2月12日に、91歳の生涯を終えました。この日は、奇しくも夫聖歌の誕生日でした。

明治・大正・昭和・平成を、力強く生き抜いた千春の作品を愛する人は多く、没後も回顧展が数度開催されています。

■消費生活講座「親子そろって防災ワークシヨップ」防災用品がないときでもチエと工夫で家族を守る

■3月16日(土)午後1時30分～3時30分 場生活・保健センター アウトドアと古武術から生まれた実践防災術を学ぶ 師あんどろりす氏(アウトドア流防災ファシリテーター) 定申込制で先着20組 他申込制で1歳6カ月児からの保育。申電話 同地域協働課(☎581・4112)